

トピックス



大阪市北区天満橋 1-8-75 TEL 050-3160-6763

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>

第66回全国植樹祭 いしかわ2015 開催！



天皇陛下お手植え（写真提供：石川県）

【石川森林管理署】 5月17日（日）、北陸新幹線金沢開業直後となる石川県で、天皇、皇后両陛下のご臨席のもと「第66回全国植樹祭いしかわ2015」が「木を活かし 未来へ届ける ふるさと森」を大会テーマとして、開催されました。

石川県での開催は昭和58年5月に開催された第34回大会以来、32年ぶり2回目です。森林・林業関係者のみならず、県内、県外からの招待者、協力者、スタッフ等約1万人が参加しました。

暑さを感じるほどの好天のもと、小松市の『憩いの森』で記念植樹、また、『木場潟公園中央園地特設会場』で式典とお手植え、お手播きが行われました。

石川森林管理署は、式典会場に隣接する芝生広場に設けられた「おもてなし広場」において、ブース出展を実施し、スタッフ4名が参加しました。

ブースでは、国有林産間伐材を利用した木製キーホルダーの絵付け体験や、パンフレットの配布、パネル展示を行い、管内の国有林や事業内容をPRしました。

用意したキーホルダーは、リョウブ、ネジキなど数種類の樹種から選んだ様々な形や大きさの木製円盤を利用して作成したもので、完成品として仕上げた800個に自由に絵付け体験をしていただきました。

ブース出展開始直後から多くのお客様で賑わい、午前中1時間ほどで準備したキーホルダーは全て配布する事ができました。体験された方から「これは何という木で



すか」等の質問があり、スタッフは事前に用意した図鑑や標本で説明に当たりました。また、思い思いの図柄や文字を書き入れる方がおられる中、木質感を味わいたいということで気に入った材料をそのまま持ち帰られる方もおられました。

準備したパンフレットについても、自然観察や野外活動全般に興味のあるお客様に大勢立ち寄っていただき、多くのパンフレットをお渡しする事が出来ました。また、数多くのOBの方にもブースに来ていただき、展示パネルを見られてはご自分の関連した項目について、当時の苦労話や思い出を語られるなど、過去の歴史の上に現在がある事を強く感じました。

半日間の短い時間でしたが、主体も年齢も多彩で、かつ大勢の方に来場いただき、大変充実した取り組みができました。今後もこのような活動を通じ、郷土の森林として国有林を身近に感じていただける場を提供していきたいと思っています。



青木局長

小林署長

鶴園整備部長

ニュース

森林土木関連事業体との意見交換会

【森林整備部 森林整備課】 5月21日(木)、22日(金)の両日、近畿中国森林管理局と広島森林管理署において、森林土木関連事業体との意見交換会を開催しました。

2会場を合わせて31社42名の方々にご参加いただき、早期発注を望む声や、「公共工事の品質確保の促進に関する法律の改正」に伴うより現地に則した事業発注の実施など、幅広いご意見、ご質問があり、活発な意見交換を実施することができました。

当日いただいた意見等については真摯に受け止め、今後の治山・土木事業の円滑な実施に向け役立てていく考えです。



平成27年度 第1回近畿中国森林管理局国有林材供給調整検討委員会

【森林整備部 資源活用課】 去る5月14日(木)、近畿中国森林管理局において、平成27年度第1回近畿中国森林管理局国有林材供給調整検討委員会を開催しました。

この委員会は、専門的な知見から国有林材の供給調整の必要性、実施方法等を検討するため、平成25年度から始まり3年目を迎えました。

委員会では、管理局から平成27年度の重点取組事項や、管内の木材需給動向等を説明しました。各委員からは各地域や業界の情勢等を報告いただいた他、国有林の山づくりや供給調整のあり方等についても意見をいただきました。その上でこれらを踏まえ、国有林材による供給調整の必要性の有無について、検討が行われました。

その結果、「住宅建設は4月に入って回復の兆しもみられるが、例年に比べると盛り上がりには欠ける。製材、合板等の需要は引き続き低調なまま推移しており、スギ、ヒノキの原木価格に大きな動きはないが、木質バイオマス発電施設が各地で稼働し始めており、チップ用木材の価格は上昇傾向にある。国有林材の供給調整の必要性は認められないが、引き続き市場動向を注視していく必要がある。」との意見がまとめられました。

次回の委員会は7月末から8月初旬に開催する予定です。



京都森林インストラクター会に「林野庁長官感謝状」を贈呈

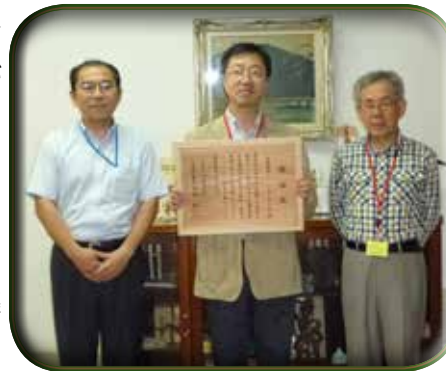
【京都大阪森林管理事務所】 5月22日(金)、京都大阪森林管理事務所において、「国民の森林づくり推進功労者に対する長官感謝状」の贈呈式を行いました。今回、国有林をフィールドとした森林づくりや教育活動等に顕著な功績があった者として、近畿中国森林管理局管内から京都森林インストラクター会が選ばれました。

京都森林インストラクター会(以下「京都会」)は、京都大阪森管理事務所と平成12年に「ふれあいの森」^{あんしゅうじやま}協定を結び、安祥寺山国有林を活動拠点として森林整備を実施しています。また、平成15年に「遊々の森」協定を結んだ京都市立金閣小学校の自然体験学習の企画指導も「京都会」が行っており、同小学校の活動が、平成24年度「学校林・遊々の森」全国こどもサミット in 京都において発表されました。

また、「京都会」は公益社団法人京都モデルフォレスト協会に「森の人材バンク」団体として登録されており、府内の企業や市町村、団体から多くの依頼を受けて森林整備や森林教室の支援活動を実施しています。なかでも例年開催されている京都伝統文化の森推進協議会主催の高台寺山国有林及び京都東山一帯で行われる「京都の森を守ろうウォーク」、「薪割りウォーク」では、一般参加の親子200人に対して自然観察の案内役を担っています。

山崎所長から、木製の大きな感謝状を受け取った篠部会長からは、「このような立派な感謝状を頂き、有難うございます。安祥寺山国有林という、交通アクセスの良いフィールドを提供して頂き、森林整備の会員研修等を継続してきたおかげで、今日のような幅広い活動ができるようになったことを感謝しております。」と御礼の言葉がありました。

「京都会」の会員には、京都検定1級取得者の篠部会長をはじめ、京都の文化を題材に本を出版した方、蝶に詳しい方、料理の上手な方、音楽の好きな方、テニスの愛好家など、森林とは直接関係のないことに興味をもっておられる方や会社を定年退職された方など様々な方がおられます。街と山が一体となって独特の景観を形づくっている京都においては、その文化を育んできた存在としての森林の役割が大きいことを会員の方々は感じ取っておられるのではないのでしょうか。ただ森林整備をするだけではなく、その



森林の歴史、人間とのかかわり、次世代への継承について、会員一人ひとりが自分なりの好奇心を持って参加しておられるように思います。

この記事をご覧の皆さんも地元で開催される里山保全活動や自然体験講座に参加すれば、ご自分の興味とは一見違うけれども、どこか繋がっているという新しい発見があるかもしれません。

松原国有林で 松葉かき森林整備体験学習

【福井森林管理署】 5月15日（金）、松原国有林において、昨年に引き続き松原小学校の5、6年生児童約150人と先生、気比の松原100年構想協議会会員ら合わせて約170人が、森林整備の体験学習を行いました。

体験学習の内容は、林床に堆積した松葉を除去する作業で、この作業は、広葉樹などが侵入しにくい環境を整え、マツの天然更新を促す効果があります。

また、体験学習の目的は、この松葉かきの作業を通じて、参加した子供たちにマツの生態や森林の仕組みを学んでもらい、地元の宝である「気比の松原」を守り育てる意識を高めてもらうことです。

参加した児童たちは、事前に授業の中で松原国有林の歴史や松葉かきが必要な理由、森林の生態に関する学習を行ってから参加していることもあり、作業前の説明の理解も早く、また、かき集めた松葉を入れるゴミ袋も用意した160枚があっという間にいっぱいになるほどでした。児童たちからは「もっとやりたかった」という声が聞こえるなど、貴重な体験になりました。

近年、公共的な施設の保全や管理に、市民やNPO団体などが参加することは、重要な政策課題となっており「協働」と呼ばれています。

福井森林管理署では、この「協働」を積極的に取り入れた保全活動を実施しています。今回、参加してくれた松原小学校の児童たちも松原国有林の保全活動に積極的に参加してくれる大人になってくれることが期待されます。



「春のあわくら温泉まつり」 に参加

【岡山森林管理署】 5月10日（日）、岡山県の北東端に位置する西粟倉村にて「春のあわくら温泉まつり」が開催されました。晴天のもと、イベント会場では、多くの参加者が集まり、地元「あわくら太鼓保存会」による「あわくら太鼓」やチアリーディング、丸太切り競争、もち投げ、魚のつかみ取りなどの企画も行われました。また、おこわ、きなこパン、イノシシのコロケなどの地元の特産品を使った料理の模擬店も多く出店されました。

この温泉まつりには、岡山森林管理署からも4名の職員が参加して「木工クラフト」の実演と製作の指導を行いました。参加者は、木の輪切り、枝やどんぐりなどの材料から参加者は自分の好きなものを選び作品を仕上げていきます。

ピーク時には座るスペースが足りなくなるほど盛況でした。参加者の作品は多種多様で、子どもたちは木の輪切りの上にダイナミックに素材を配置した元気あふれる作品、マツボックリなどを油性ペンでカラフルに塗った作品や動物を模



した作品、大人はどんぐりやマツボックリを木の輪切りの上にお洒落に配置したかわいらしい置物を作るなど、子どもも大人も関係なく楽しんでいただけました。また、参加者からのアンケートには、木工イベントについて、楽しかった、自然とふれあえた、もっと木工イベントをやってほしいなどの意見も多く、参加者の方々には満足いただけたようです。

今回の木工クラフトは、参加者が楽しく、自然に親しむ良いきっかけづくりになったと思います。今年の経験を生かし、来年以降も参加者がより楽しめるようなイベントを実施していきます。



シリーズ 保護林 第24回

近畿中国森林管理局の保護林

はな 谷に シャクナゲ植物群落保護林 [江の川下流森林計画区]



ホンシャクナゲ



岩上のホンシャクナゲ



ホンシャクナゲの稚幼樹

花の谷シャクナゲ植物群落保護林は、島根県邑智郡美郷町に位置しています。当保護林は低地に自生するシャクナゲ群落の保護を目的として設定しています。

保護林の面積は、14.00haで、水源かん養保安林に指定されています。

当保護林の植生は、スギなどの針葉樹やアカガシなどの常緑広葉樹、ミズナラ、ホオノキ、アオハダなど落葉広葉樹が混生しており、主に急傾斜地の岩場や切り立った尾根部などで保護対象樹種のホンシャクナゲが見られます。

また、保護林周辺でも手軽にホンシャクナゲを見ることができる公園等があります。

【花の谷シャクナゲ植物群落保護林へのアクセス】

- ◎車・・・国道166号線から花谷林道のほり、登山口（国有林看板あり）にアクセスします。
- ◎歩・・・所々に古い登山道がありますが、急な斜面が多いため、注意して登山するようにしてください。

【保護林及び国有林内での注意事項】

- ★国有林内の動植物の捕獲、採集はできません。
- ★国有林内では火気厳禁です。林内では禁煙にご協力ください。
- ★自然環境の保護と安全な利用のために、歩道等を外れないようにお願いします。
- ★林道は幅が狭い未舗装の所がほとんどです。落石の危険性もあります。注意して通行してください。

【花の谷シャクナゲ植物群落保護林に生息・生育する動植物】

- ◎植物：ホンシャクナゲ、スギ、ミズナラ、ホオノキ、アオハダ、アカガシ、ウラジロガシ、イヌブナ、サカキ、ヒサカキ、シロダモ、クロモジ、ミズメ、アセビ、コアジサイ、チュウゴクザサなど

【保護対象樹種】



ホンシャクナゲ
Rhododendron japonheptamerum var. *hondoense*

